

西区

市民とともに実現した清水市政4期16年の実績

住みやすい10.1P増！西区での取り組み

★住みやすい 10.1P 増 ↗
(H20年68.8% → R6年78.9%)

★住み続けたい 3.7P 増 ↗
(H20年82.5% → R6年86.2%)

- 人口 83,385人 (H21.4) →95,436人 (R6.4) **12,051人増**
- 高齢化率 23.0 (H22) →27.8 (R2) ※国勢調査調べ
- 下水道普及率 57.3% (H21年度) →87.4% (R5) **30.1P増**
- 都市公園数 91 (H21年度) →105 (R5年度) **14カ所増**
- 暮らしの道路整備状況 **受理0、事業中22、完了64、合計86件**
- スマイルロード整備状況 **受理3、事業中6、完了121、合計130件**

住みやすい10.1P増！西区での取り組み

◆指扇駅南北自由通路・北口開設・駅舎橋上化

平成26年度完成。これにより、南北口からの駅利用が可能となり、自由通路により駅南北間の通行が24時間できるようになりました。また、エレベーターをはじめ、エスカレーターやみんなのトイレを設置するなど、誰もが利用しやすい施設として生まれ変わりました。



指扇駅北口駅前広場



指扇駅南北自由通路



指扇駅橋上化（北口）



指扇駅北口駅前広場バスシェルター

住みやすい10.1P増！西区での取り組み

◆大宮西部地区のまちづくり

西大宮駅周辺地域については、西区における新たな地域拠点の形成に向け、JR川越線を挟み、北側は都市再生機構施行による大宮西部特定土地区画整理事業、南側は市施行による指扇土地区画整理事業が推進されています。平成21年3月14日、JR川越線の日進駅と指扇駅の間にも新駅「西大宮駅」が開業しました。また、平成10年度から施行されていた「さいたま市大宮西部特定土地区画整理事業」については、平成29年に完了し、町名及び地番が変更されました。



西大宮駅北口



平成19年 西大宮駅北口（西区役所屋上より）



平成27年 西大宮駅北口（西区役所屋上より）

◆宝来グランドゴルフ場

さいたま市初の公認グラウンド・ゴルフ専用コースを平成30年4月1日にオープンしました。



◆指扇小学校複合施設整備

◆書かない窓口



北区

市民とともに実現した清水市政4期16年の実績

住みやすい8.9P増！北区での取り組み

★住みやすい 8.9P 増 ↗
(H20年80.8% → R6年89.7%)

★住み続けたい 4.5P 増 ↗
(H20年83.2% → R6年87.7%)

- 人口 138,087人 (H21.4) →150,330人 (R6.4) **12,243人増**
- 高齢化率 17.7 (H22) →22.0 (R2) ※国勢調査調べ
- 下水道普及率 99.4% (H21年度) →99.9% (R5年度) **0.5P増**
- 都市公園数 131 (H21年度) →136 (R5年度) **5カ所増**
- 暮らしの道路整備状況 受理0、事業中3、完了20、合計23件
- スマイルロード整備状況 受理18、事業中20、完了224、合計262件

住みやすい8.9P増！北区での取り組み

◆日進駅橋上化による北口開設・南北駅前広場等の整備

駅舎橋上化により北口が平成22年3月に開設し、北口からの鉄道利用や駅南北地区の移動が自由に行えるようになりました。新たな橋上駅舎・南北自由通路は、エレベータをはじめ、エスカレータやみんなのトイレ（高齢者・障害者等の利用に配慮したトイレ）を設置するなど、誰もが利用しやすい施設として生まれ変わり、平成23年2月に完成しました。



北口

平成20年6月 工事着手前



南口



北口

平成23年3月 北口駅前広場・アクセス道路工事完成



南口

◆東宮原ぼうさい公園・広域拠点備蓄倉庫

平成29年4月1日より東宮原ぼうさい広場を「地震」「洪水」「崖崩れ」時の指定緊急避難場所に指定しました。指定緊急避難場所とは、切迫した災害の危険から逃れ、身の安全を確保することができる場所です。万が一の災害時には、駐車場部分が隣接地の広域拠点備蓄倉庫と一体的に活用されます。



出典「さいたま市HP」

住みやすい8.9P増！北区での取り組み

◆JCHOさいたま北部医療センター移設建替

・大宮医師会市民病院の老朽化に伴い、病院名称をさいたま北部医療センターとしてプラザノース北側に平成31年3月、新築移転しました。

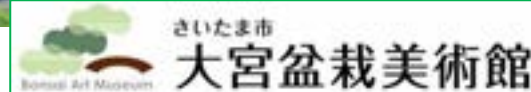
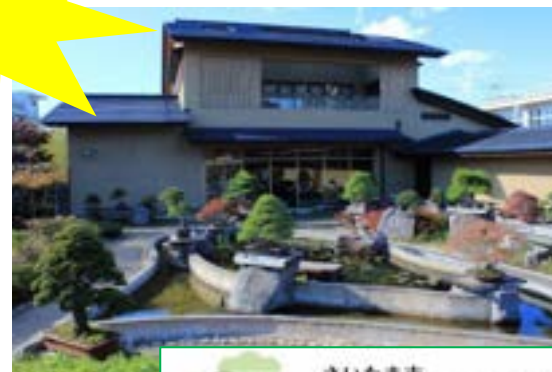
※さいたま市北部地域の初期救急医療を担う**大宮休日夜間急患センター**を開設し、特に本市全域を対象とした深夜帯の小児初期救急医療を毎日実施。



◆大宮盆栽美術館

・盆栽文化振興の核となる施設として、平成22年3月に世界で初めてとなる公立の盆栽美術館として開館しました。

来館80万人
突破！
R6.1.10



◆ニューシャトル駅構内へのトイレ設置

・令和3年度までに、「加茂宮駅」、「東宮原駅」、「今羽駅」の改札内にバリアフリートイレを設置。

◆(仮称)日進給食センター跡地公園

・日進給食センターの解体後、地下の雨水貯留施設設置工事の完了に伴い公園を整備。



大宮区

市民とともに実現した清水市政4期16年の実績

住みやすい10P増！大宮区での取り組み

★住みやすい 10.0P 増 ↗
(H20年79.7% → R6年89.7%)

★住み続けたい 5.5P 増 ↗
(H20年85.7% → R6年91.2%)

- 人口 108,337人 (H21.4) →125,263人 (R5.4) **16,926人増**
- 高齢化率 21.3 (H22) →22.5 (R2) ※国勢調査調べ
- 下水道普及率 99.1% (H21年度) →99.8% (R5年度) **0.7P増**
- 都市公園数 72 (H21年度) →83 (R5年度) **11カ所増**
- 暮らしの道路整備状況 受理0、事業中3、完了16、合計19件
- スマイルロード整備状況 受理2、事業中8、完了77、合計87件

住みやすい10P増！大宮区での取り組み

◆大宮区役所・複合公共施設

「公共施設再編による連鎖型まちづくり」の一環として、「大宮区役所新庁舎」の整備事業を行い、新大宮区役所・大宮図書館が令和元年5月7日にオープンしました。



旧大宮区役所
(S41・32築)



◆大門町2丁目中地区 市街地再開発事業

市民会館のホール機能のほか、商業やオフィスなど、にぎわい創出につながる機能を導入。令和4年4月にオープン。

【地上18階、地下3階の複合ビル】



◆大宮駅西口周辺まちづくり



住みやすい10P増！大宮区での取り組み

◆のびのびプラザ大宮

本市初の乳幼児の子育て支援を中心とした複合施設「のびのびプラザ大宮」を平成25年4月にオープンしました。

- ・さいたま市大宮区桜木町1丁目185番地2
- ・敷地面積：1324㎡。
- ・規模構造：鉄骨造地上6階建、延面積4516.51㎡

◆大宮国際中等教育学校

平成31年4月、埼玉県初の中等教育学校となる、さいたま市立大宮国際中等教育学校を開校しました。大宮国際中等教育学校では、世界的に評価の高い国際バカロレアによる教育プログラムを導入します。令和4年3月には、後期課程校舎が完成しました。



出典「さいたま市HP」

見沼区

市民とともに実現した清水市政4期16年の実績

住みやすい10.5P増！見沼区での取り組み

★住みやすい 10.5 P 増 ↗
(H20年74.3% → R6年84.8%)

★住み続けたい 6.3P 増 ↗
(H20年80.4% → R6年86.7%)

- 人口 155,763人 (H21.4) →165,228人 (R6.4) **9,465人増**
- 高齢化率 21.1 (H22) →27.4 (R2) ※国勢調査調べ
- 下水道普及率 74.1% (H21年度) →93.2% (R5年度) **19.1P増**
- 都市公園数 143 (H21年度) →160 (R5年度) **17カ所増**
- 暮らしの道路整備状況 受理0、事業中12、完了78、合計90件
- スマイルロード整備状況 受理21、事業中45、完了292、合計358件

住みやすい10.5P増！見沼区での取り組み

◆見沼消防署

平成31年4月1日開所

消防力の充実強化を図るため、「さいたま市消防力整備計画」に基づき、見沼区片柳地域に消防署庁舎を新設し、現在、春野地域に所在する見沼消防署から消防署の機能を移転しました。



◆七里駅舎改修事業（七里駅舎橋上化）

現在、改札口が駅の南側のみで駅北側からのアクセス性が低いため、七里駅舎改修事業では、七里駅の橋上化及び南北自由通路の整備を進め、地域の利便性や安全性の向上を図ります。（令和5年度利用開始予定）



現在の七里駅改札口付近



北側



南側

住みやすい10.5P増！見沼区での取り組み

◆サーマルエネルギーセンターの整備

稼働から30年以上経過し、老朽化が進んでいることから、安定した処理を継続するため、西部環境センター及び東部環境センターの2施設を統廃合し、サーマルエネルギーセンターを整備します。

◆東楽園移転改修

サーマルエネルギーセンター整備事業に伴い、余熱利用施設である老人福祉センター東楽園を、現敷地から移転し、全年代が利用できる機能（プール等）を付加した「新東楽園」として再整備します。（令和7年4月開館予定）



◆新設大和田地区小学校

令和8年4月開校に向け準備を進めています。



◆食肉中央卸売市場・と畜場移転再整備

◆日本一の桜回廊

「目指せ日本一！サクラサク見沼田んぼプロジェクト」により植樹を行ってきた、見沼代用水沿いに連なる「見沼田んぼの桜回廊」は、平成29年3月に総延長20kmを超え、桜の下を散策できる日本一の桜回廊になりました。



中央区

市民とともに実現した清水市政4期16年の実績

住みやすい14.5P増！中央区での取り組み

★住みやすい 14.5P 増 ↗
(H20年79.7% → R6年94.2%)

★住み続けたい 2.7P 増 ↗
(H20年84.0% → R6年86.7%)

- 人口 94,560人 (H21.4) →103,050人 (R6.1) **8,490人増**
- 高齢化率 17.7 (H22) →21.4 (R2) ※国勢調査調べ
- 下水道普及率 99.8% (H21年度) →100% (R5年度)
- 都市公園数 36 (H21年度) →39 (R5年度) **3カ所増**
- 暮らしの道路整備状況 受理0、事業中0、完了4、合計4件
- スマイルロード整備状況 受理0、事業中5、完了76、合計81件

住みやすい14.5P増！中央区での取り組み

◆与野本町小複合施設「いーよの」

与野本町小学校の敷地内に、与野本町小学校複合施設「いーよの」を開設しました。この施設は、老朽化した与野本町小学校の北校舎（1958年建設）と給食室（1970年建設）の建替えに合わせて、市民の皆さんの意見を取り入れつつ、「子育て支援センターよの」、「与野本町放課後児童クラブ」、「与野郷土資料館」からなる複合施設として整備しました。



◆中央消防署移転整備事業

現在の中央消防署は、昭和40年竣工から50年以上経過し、老朽化が著しく、敷地も狭いことから移転整備します。災害活動の拠点、地域防災コミュニティの核として整備するとともに、消防力の充実・強化を図ります。

令和元年～令和3年度 新庁舎建設工事

令和3年（2021年）12月 新中央消防署供用開始



住みやすい14.5P増！中央区での取り組み

◆高沼用水路の整備

高沼用水路は、導水路と東縁、西縁を合わせて全長およそ9.5キロメートルあります。東縁と西縁において、極力フェンスを設置しない、擬木製ブロック護岸や木製メッキかご護岸により自然に溶け込む景観にする、など治水を優先しながら、自然環境にも配慮した水と親しみ憩える親水空間の整備を平成24年度より進めており、5.0キロメートルの整備が完了しています。（令和2年度末時点）



高沼用水路東縁整備後



さいたま赤十字病院・県立小児医療センター

◆さいたま赤十字病院・ 県立小児医療センター移転・建替

さいたま新都心第8-1A街区医療拠点整備事業として、埼玉県立小児医療センターと併設され、平成29年1月1日に移転開院（外来診察は1月4日開始）しました。

◆与野本町駅周辺のまちづくり

- ・区役所周辺の老朽化した公共施設の機能を整理し集約・複合化することで公共サービスの質を向上
- ・与野中央公園を整備することでみどり拠点を強化



桜区

市民とともに実現した清水市政4期16年の実績

住みやすい6.2P増！桜区での取り組み

★住みやすい 6.2P 増 ↗
(H20年68.8% → R6年75.0%)

★住み続けたい 3.4P 減 ↘
(H20年80.6% → R6年77.2%)

- 人口 93,867人 (H21.4) →96,518人 (R6.4) **2,651人増**
- 高齢化率 17.7 (H22) →24.1 (R2) ※国勢調査調べ
- 下水道普及率 84.0% (H21年度) →96.6% (R5年度) **12.6P増**
- 都市公園数 53 (H21年度) →64 (R5年度) **11カ所増**
- 暮らしの道路整備状況 受理0、事業中1、完了23、合計24件
- スマイルロード整備状況 受理0、事業中1、完了42、合計43件

住みやすい6.2P増！桜区での取り組み

◆桜環境センターを開設

- ・平成27年4月1日に桜環境センターを開設。
- ・熱回収施設（ごみ焼却施設）、リサイクルセンターのほか、環境啓発施設や、ごみを焼却する際の熱エネルギーを回収して利用する余熱体験施設などを整備。



◆町谷本太線（鴻沼工区）

- 平成30年1月供用開始
- ～新大宮バイパスから国道17号への東西方向のアクセス向上が図られます～



着手前

西堀氷川トンネル
完成後H30年1月

◆道場三室線（2工区）

- 令和6年4月23日、4車線開通



住みやすい6.2P増！桜区での取り組み

◆油面川排水機場整備事業（令和4年7月供用開始）

- ・準用河川油面川流域における浸水被害軽減のため、一級河川鴨川へ強制排水するための排水機場
 - ・大雨時の鴨川の水位上昇に伴う油面川の水位上昇を防ぐために、鴨川堤防に設置されたゲートを閉じ、ポンプにより強制的に油面川の水を鴨川へ排水させます。
- これにより、油面川の水位を下げることで、浸水被害を軽減することができます。

令和元年台風第19号時の浸水状況



油面川排水機場整備効果の検証



◆西浦和駅周辺まちづくり方針（令和3年）

「**団地キッチン**」**田島**オープン！（UR都市再生機構の団地再生事業）

浦和区

市民とともに実現した清水市政4期16年の実績

住みやすい7.6%増！浦和区での取り組み

★住みやすい 7.6P 増 ↗
(H20年86.6% → R6年94.2%)

★住み続けたい 3.6P 増 ↗
(H20年88.4% → R6年92.0%)

- 人口 145,937人 (H21.4) →169,581人 (R6.4) **23,644人増**
- 高齢化率 18.5 (H22) →20.6 (R2) ※国勢調査調べ
- 下水道普及率 99.6% (H21年度) →99.9% (R5年度) **0.3P増**
- 都市公園数 91 (H21年度) →104 (R5年度) **13カ所増**
- 暮らしの道路整備状況 受理0、事業中1、完了8、合計9件
- スマイルロード整備状況 受理0、事業中9、完了91、合計100件

住みやすい7.6%増！浦和区での取り組み

◆浦和駅橋上化・東口駅前市民広場整備

鉄道を高架化し、駅構内に幅員25mの東西連絡通路を整備しました。さらに東西の交差道路を新たに3か所整備し、全5か所で行き来できるようになり、鉄道で分断されていた浦和駅東西市街地の一体化が実現しました。また、浦和駅を通過している東北客貨線(湘南・新宿ライン)にホームを新設し、池袋、新宿方面へのアクセス向上を図りました。浦和駅東口駅前市民広場は、市民の通路として用いられるものであるとともに、市民の憩いと交流の場として活用できるよう整備しました。



昭和58年7月 浦和駅東口



現在の浦和駅東口駅前市民広場



平成19年 浦和駅西口



現在の浦和駅西口

◆浦和駅西口地下道

東西連絡通路と西口中ノ島バスターミナルを地下で接続するとともに、地上と地下を接続するエレベータを設置し、安全かつ円滑に利用可能なバリアフリールートを確認しました。



◆南高砂地区再開発



住みやすい7.6%増！浦和区での取り組み

◆田島大牧線

鉄道と交差している田島大牧線（日の出通り）を幅員25mに拡幅し、4車線の道路として整備しました。
産業道路までの太田窪工区も平成22年に事業を開始し、令和6年度までに4車線化。



富士見坂付近の整備状況
（令和3年3月時点）

◆常盤公園



◆みぬま 木崎広場



◆子ども家庭総合センター開設

子ども・家庭をとりまく課題に総合的に取り組み、子ども・家庭、地域の子育て機能を総合的に支援する、さいたま市らしさを生かした中核施設として平成30年4月に開設しました。

1階には市民コンタクトスクエア、3階には子どもケアホーム・あいぱれっと教育相談室、4階には児童相談所・こころの健康センター・男女共同参画相談室・総合教育相談室（あいぱれっと教育相談室）を配置しました。



◆浦和駅周辺まちづくりビジョン

まちの将来像やまちづくりの方針を明らかにし、浦和のまちに関わる市民、事業者、行政等の多様な主体が共有する指針として、「浦和駅周辺まちづくりビジョン」を策定しました。（令和5年2月）

南区

市民とともに実現した清水市政4期16年の実績

住みやすい12.4P増！南区での取り組み

★住みやすい 12.4P 増 ↗
(H20年76.2% → R6年88.6%)

★住み続けたい 6.1P 増 ↗
(H20年79.9% → R6年86.0%)

- 人口 173,385人 (H21.4) →194,477人 (R5.4) **21,092人増**
- 高齢化率 15.8 (H22) →19.6 (R2) ※国勢調査調べ
- 下水道普及率 94.0% (H21年度) →99.2% (R5年度) **5.2P増**
- 都市公園数 95 (H21年度) →113 (R5年度) **18カ所増**
- 暮らしの道路整備状況 受理0、事業中1、完了7、合計8件
- スマイルロード整備状況 受理0、事業中2、完了69、合計71件

住みやすい12.4P増！南区での取り組み

◆ 複合公共施設サウスピア整備

平成25年1月4日に武蔵浦和駅西口に複合公益施設サウスピアをオープンしました。

「サウスピア」は子育て支援センターみなみ、武蔵浦和図書館、南区役所、シニアふれあいセンターサウスピア（補足：老人福祉センター武蔵浦和荘の愛称です）、武蔵浦和コミュニティセンターからなる複合公益施設です。



◆ 武蔵浦和駅周辺地区事業

武蔵浦和駅周辺地区は、本市の副都心として位置付けられ、都市活動を多様化する役割が求められています。そのため、本地区では都市基盤の整備を進めながら、埼京線と武蔵野線がクロスする等の広域条件の良さを活かして、商業・業務機能と住宅との均衡のとれた職住近接型高次複合都市の実現を目指しています。



◆ 武蔵浦和義務教育学校

義務教育9年間を一貫した教育活動による子どもたちの学びの充実と、武蔵浦和駅周辺地区小・中学校における学校規模による課題の解決を目的として、浦和大里小学校、内谷中学校の2つの校舎と、沼影公園と沼影小学校の土地の一部を一体的に活用し建設する新設校舎を合わせた、3つの校舎からなる学園構想による義務教育学校を整備します。

※沼影小学校解体後にスポーツ施設を整備



内観イメージ

※パースはイメージであり今後変更となる可能性があります。

住みやすい12.4P増！南区での取り組み

◆南浦和駅の改良

市内各駅のバリアフリー化を進めています。
平成28年3月には西口、平成29年3月には東口にエレベーターを設置しました。
また、平成31年2月及び令和2年2月に京浜東北線ホームにホームドアを設置しました。



JR南浦和駅東口改札外エレベーター（平成28年度整備）



◆第2若者自立支援ルーム （南浦和ルーム）

若者自立支援ルームは、ひきこもりや不登校等により社会生活を営むうえで困難を有する若者に対し、その個人の状態に合わせた自立支援プログラムを段階的に実施し、円滑な自立が果たせるよう、利用者への支援を行う場所です。

市内で2カ所目を令和2年度6月に南浦和駅前にオープンしました。



緑区

市民とともに実現した清水市政4期16年の実績

住みやすい10.7P増！緑区での取り組み

★住みやすい 10.7P 増 ↗
(H20年79.6% → R6年90.3%)

★住み続けたい 5.8P 増 ↗
(H20年83.6% → R6年89.4%)

- 人口 110,225人 (H21.4) →134,058人 (R6.4) **23,833人増**
- 高齢化率 18.4 (H22) →22.5 (R2) ※国勢調査調べ
- 下水道普及率 83.4% (H21年度) →93.4% (R5年度) **10P増**
- 都市公園数 89 (H21年度) →122 (R5年度) **33カ所増**
- 暮らしの道路整備状況 受理0、事業中2、完了41、合計43件
- スマイルロード整備状況 受理0、事業中6、完了61、合計67件

住みやすい10.7P増！ 緑区での取り組み

◆スマートシティさいたまモデル

本市の副都心である美園地区をさいたま市が目指す理想都市の縮図とするため、人と人とのつながりであるコミュニティをしっかりと形成するとともに、AI、IoT、データを活用することで、住民等が抱える様々な社会課題を解決する生活支援サービスを提供することで、市民生活の質を最大限向上させていくことを目指す事業です。

また、美園地区で新たに誕生した生活支援サービスは、将来的にはさいたま市全域へ展開することを目指します。



◆浦和美園複合公共施設

平成28年1月、浦和美園駅東口駅前複合公共施設を開設しました。

- ・美園コミュニティセンター
- ・美園支所
- ・美園図書館
- ・美園教育相談室
- ・適応指導教室「かけはし」
- ・拠点備蓄倉庫



◆農業交流施設整備事業

現在の農業者トレーニングセンター（緑区大崎）の敷地内等で市内農産物の直売機能や観光農園等の情報発信機能等を備えた農業交流施設を含む（仮称）さいたま市農業交流公園をPark-PFI方式で整備します。



住みやすい10.7P増！緑区での取り組み

◆緑消防署・尾間木児童センター・ 尾間木公民館の開所

平成28年、消防署、児童センター、公民館からなる複合施設を開所しました。児童センターは、尾間木児童センターの開館により、全10区に設置が完了しました。



◆市立病院新病棟整備・救命救急センター指定

市民から信頼され、安心して暮らせるさいたま市のシンボルである市立病院について、令和元年12月29日に、さいたま市立病院新病院（本館・別館）を開院しました。新病院では、重症救急患者の受け入れが可能となる救急病床を20床新設しました。令和2年12月1日には、救命救急センターの指定を受けました。



◆一般国道463号越谷浦和バイパス (鶴巻ランプ)

浦和IC周辺の交通混雑の緩和及び東北自動車道とのアクセス機能の強化、緊急輸送道路のネットワーク強化を目的に、東北自動車道、国道122号、国道463号バイパスを立体交差により接続し、相互を連結鶴巻ランプを整備しています。



岩槻区

市民とともに実現した清水市政4期16年の実績

住みやすい2.2P増！岩槻区での取り組み

★住みやすい 2.2P 増 ↗
(H20年69.5% → R6年71.7%)

★住み続けたい 1.9P 増 ↗
(H20年83.7% → R6年85.6%)

- 人口 112,300人 (H21.4) →112,471人 (R6.4) **171人増**
- 高齢化率 23.5 (H22) →31.2 (R2) ※国勢調査調べ
- 下水道普及率 64.3% (H21年度) →74.4% (R5年度) **10.1P増**
- 都市公園数 69 (H21年度) →87 (R5年度) **18カ所増**
- 暮らしの道路整備状況 受理0、事業中12、完了39、合計51件
- スマイルロード整備状況 受理11、事業中64、完了194、合計269件

住みやすい2.2P増！岩槻区での取り組み

◆岩槻駅橋上化

東武野田線岩槻駅の橋上駅舎及び東西自由通路設置工事を実施し、平成29年3月に完成しました。



旧駅舎



東口

◆岩槻人形博物館 にぎわい交流館いわつき

魅力ある地域資源である人形文化の普及・振興を図るため、「さいたま市岩槻人形博物館」を令和2年2月22日に開館しました。

また、岩槻の歴史及び文化の発信、産業及び観光の振興並びに地域活性化の拠点として、地域のにぎわいの創出に寄与するため、「にぎわい交流館いわつき」を設置しました。



東西自由通路



西口

日本初の公立の人形専門博物館

岩槻人形博物館



来館10万人
突破！
R5.3.5

◆岩槻消防署

消防力の向上を図るため、「さいたま市消防力整備計画」に基づき、令和2年7月、岩槻区大字岩槻地区に消防署庁舎を移転しました。

◆一般国道122号蓮田岩槻バイパス

令和7年3月 全線開通

住みやすい2.2P増！岩槻区での取り組み

◆人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり・流しびな

商家に伝わる歴史的な人形や創作人形が展示され、まち全体がひな祭りで賑わいます。また、流しびなは、子どもたちの無病息災をひな人形の原型とも伝わる「さん俵」に託して池に流す春の風物行事で、ひな祭りのルーツともいわれています。

◆城下町岩槻鷹狩り行列

江戸時代、徳川家康公は鷹狩りをしながら何度も岩槻を訪れています。「城下町岩槻鷹狩り行列」は、その歴史の1ページを再現しています。



◆川通地区産業集積拠点

◆岩槻駅西口区画整理事業

岩槻駅の西側に隣接していながらも、駅西口の未開設や道路等の公共施設の未整備により、駅前という立地が活かされていなかったため、都市計画道路、区画道路等の整備を行い、商業の活性化と潤いのある住環境の形成を図ります。



区画道路8号線築造工事 (H30) 【工事前】



区画道路8号線築造工事 (H30) 【工事後】

◆地下鉄7号線延伸事業・中間駅まちづくり

都市鉄道等利便増進法に基づく鉄道事業者による申請手続の早期実現のため、鉄道事業者と一体となって取組を進めるとともに、中間駅周辺のまちづくりを推進します。